

<<記載例>>

(様式第4号の1)

誓 約 書

観音寺市物品の買入れ等に係る競争入札の参加資格を認定されたうえは、入札への参加、契約の履行に当たり関係諸規定並びに担当職員の指示事項を遵守し、決して不正な行為をしないとともに、万一違反の行為があった場合は、参加資格の取消しの処分を受けても何等異議のないことを誓約します。

申請日を記入

令和〇年〇月〇日

観音寺市長 宛て

本社住所、商号、代表者
名、押印で作成

所 在 地 香川県高松市番町四丁目1番 10 号

商号又は名称 株式会社〇〇〇

代 表 者 代表取締役 鈴木 太郎

印

《記載例》

(様式第4号の2)

誓約書

申請日を記入

観音寺市長 宛て

本社住所、商号、代表
者名、押印で作成

令和〇年〇月〇日

住 所 香川県高松市番町四丁目1番10号

商号又は名称 株式会社〇〇〇

代 表 者 代表取締役 鈴木 太郎 印

当社(個人の場合は私、団体の場合は当団体)は、貴市が発注する物品の買入れ等に係る競争入札参加資格審査申請にあたり、現在及び将来において、下記に該当しないことを誓約いたします。

この誓約に反したことにより、当方が不利益を被ることとなっても異議はありません。

なお、貴市が必要な場合には、関係機関に照会することについて承諾し、照会で確認された情報は、貴市との契約における確認に利用することに同意します。

記

- 1 代表一般役員等(受注者の代表役員等(受注者が個人である場合にはその者を、受注者が法人である場合には代表権を有する役員(代表権を有すると認めるべき肩書を付した役員を含む。)をいう。)、一般役員等(法人の役員(執行役員を含む。))又はその支店若しくは営業所(常時物品の買入れ等の契約を締結する事務所をいう。)を代表する者(代表役員等に含まれる場合を除く。)をいう。))又は経営に事実上参加している者をいう。以下同じ。))が暴力団関係者(暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第2条第6号に規定する暴力団員(以下「暴力団員」という。))又は暴力団員以外の者で同条第2号に規定する暴力団(以下「暴力団」という。))と関係を持ちながら、その組織の威力を背景として同条第1号に規定する暴力的不法行為等を行うもの若しくは暴力団に資金等を供給すること等によりその組織の維持及び運営に協力し、若しくは関与するものをいう。以下同じ。)である。
- 2 代表一般役員等が、業務に関し、自社、自己若しくは第三者の不正な財産上の利益を図るため又は第三者に債務の履行を強要し、若しくは損害を加えるため、暴力団又は暴力団関係者を利用している。
- 3 代表一般役員等が、暴力団又は暴力団関係者に対して、名目のいかんを問わず、金銭、物品その他の財産上の利益を与え、又は便宜を供与している。
- 4 代表一般役員等が、暴力団又は暴力団関係者と社会的に非難されるべき関係を有している。
- 5 契約等の相手方が1から4までのいずれかに該当する者であることを知りながら、当該者と購入契約を締結する等当該者を利用している。
- 6 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第32条第1項各号に掲げる者である。